

あとがき

『隠岐のナミと離島(しま)ごはん』ここまでお読み頂きありがとうございます。
作者であり、地域おこし協力隊のあーさと申します。
私の所属は農林水産課農林振興係、与えられたミッションは『隠岐産品の情報発信・販売促進』でした。

特産品とは、その土地の気候・文化と密接に結びついた物品のことです。
それを島外へ発信するには、それぞれの食材が持つストーリーを漫画にすることが一番だと思い、筆を執らせて頂きました。

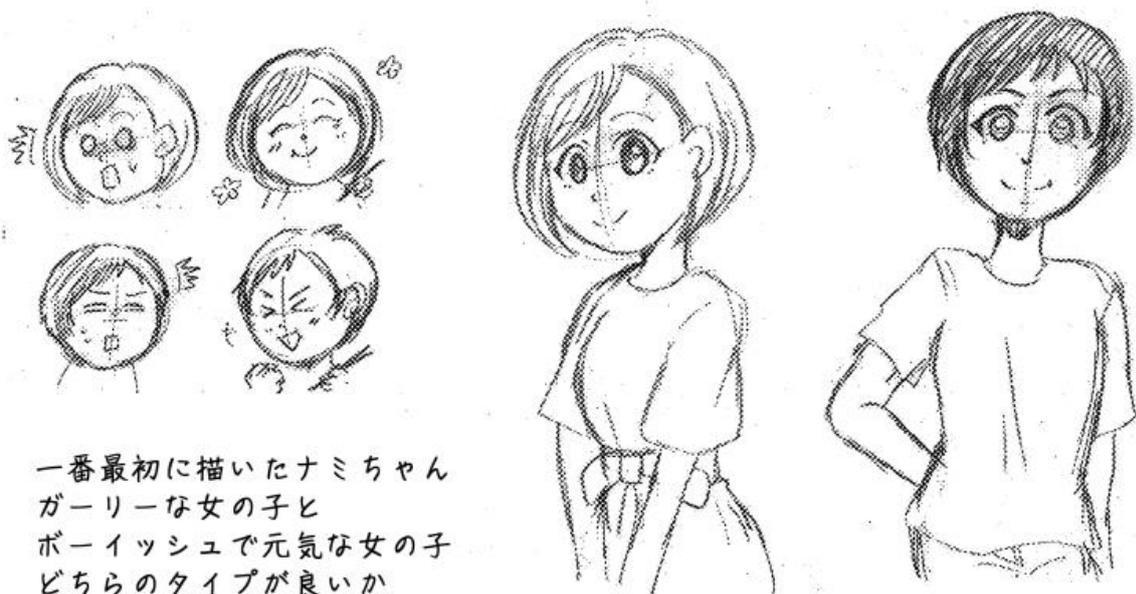
取材と称してみんなでごはんを食べに行ったり、ご近所さんにご馳走頂いたり、その時撮った写真を見ながら、ごはんのイラストをネチネチ描いたり、実に楽しく遣り甲斐のある仕事でした。

おかげ様で、島外に向けて隠岐産品の魅力を発信することが出来たと思います。
何より嬉しかったのが、島の方たちに、この隠岐ナミちゃんの漫画を楽しんで頂けたことです。「昨日漫画に出てたバイ貝食べたよ。」「次の更新楽しみにしちよるけん」などお声がけ頂き、大変励みになりました。そういうところが好きだぞ、隠岐の島！

さて、ここでナミちゃんの物語は一旦終わりです。このあと彼女には、どんな未来を歩むのでしょうか？もしかしたら協力隊の起業支援金を元手に、お店を出すかもしれませんね。



隠岐ナミちゃん制作秘話①



一番最初に描いたナミちゃん
ガーリーな女の子と
ボーイッシュで元気な女の子
どちらのタイプが良いか
農林水産課内で回覧を回したところ
ガーリータイプが選ばれました。

ガーリータイプ

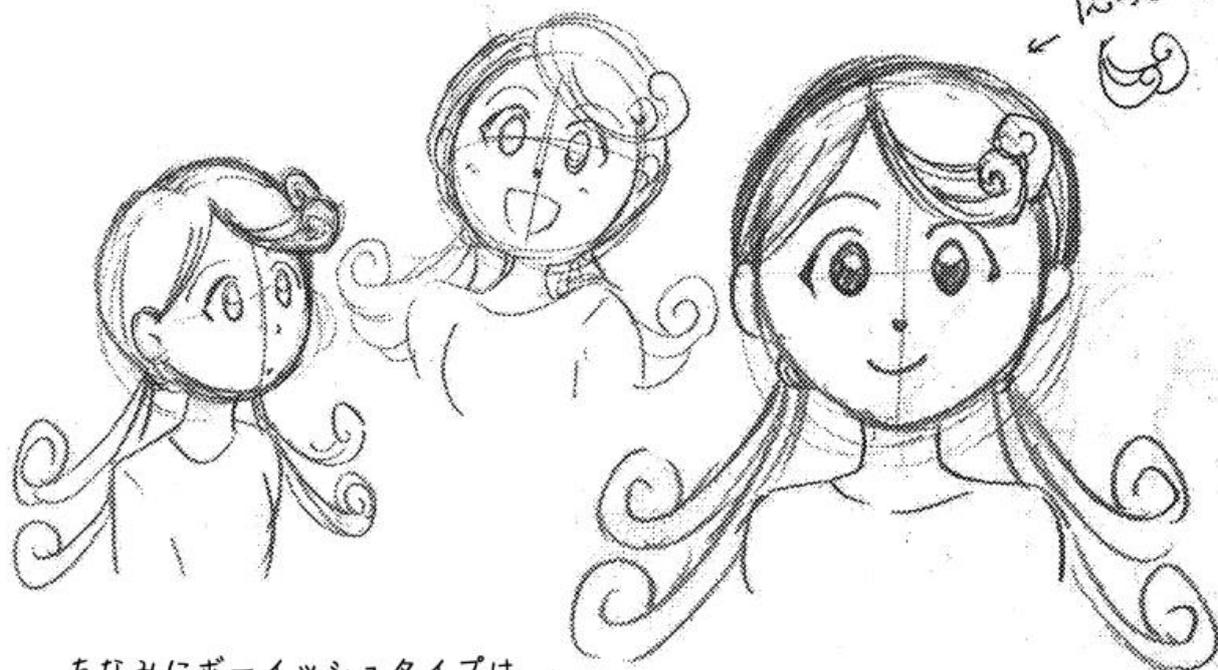
ボーイッシュタイプ

その後

「キャラクターデザインに隠岐の島町らしさが欲しい」

との意見が出たため、前髪を『町章』っぽく巻き髪にしてみました。

ゆるかわ食いしん坊ガール『沖野ナミ』ちゃんの誕生です！



ちなみにボーイッシュタイプは

ワイルド系米農家女子『ハルちゃん』として、サルベージされました(^^)

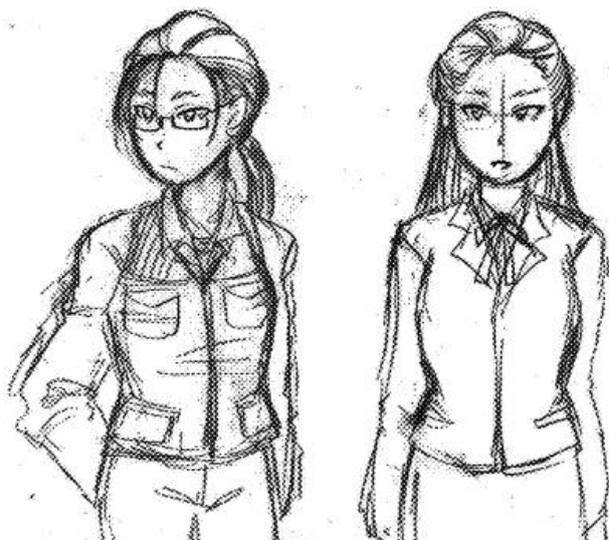
隠岐ナミちゃん制作秘話②

青島ハル→

最初は地元の米農家
女子高生として出ようと
考えてましたが、
ゆくゆくはナミちゃんと
友達になって欲しかったので
もうちょっと大人にしました。
(ちなみに二人とも27歳です)



遠藤花子↓



本意を
出した
花子

都会で着飾ることに疲れたため
隠岐ではうフに過ごしている
干物美女という設定。
実はモデルは農林水産室にいた
協力隊の先輩みだったりします。

花咲ヒフミ→

離島の補助金と協力隊の起業支援金を
元手に起業を夢見る野心家ガール
口は悪いが、フェミニン&ガリーな
お洋服が大好き
ちなみに彼女も先輩協力隊みがモデルです。



農業の恵みは『食料』だけじゃない

稲作は地域にとって、様々な役目を担っています。

例えば、水田は雨水を一時的に貯蔵し、洪水や土砂崩れを防いでくれます。多様な生き物を育んだり、農村の風景として心の和ませてくれたりもします。

そして、伝統文化を継承する役割もあります。

日本の年間行事や祭りの多くは、稲の豊作を祈る・感謝するなど、農耕の祭事に由来しています。農業を通じて、各地で季節に応じた様々な伝統行事や祭りなどが受け継がれています。

地域の農業を守ることは、地域の文化を守ることでもあります。それもあって、ハルちゃんは米農家を継ぐことにこだわるのです。



米農家への想いを語るハルちゃん。
それを聞いて、継ぐことにはまだ賛成しないけど、熱意は理解した権さん…
…なんてエピソードを15話のあと描きたかったのですね…。



漫画に出したかった特産品
本当はもっと沢山あるんです



是非実際食べてみてください♪

漫画：あーさ

おき 隠岐のナ三と

しま 離島ごはん

地域おこし協力隊として
隠岐の島町に移住したら
ごはんがおいしい！





あらすじ

東京から隠岐の島町へ
移住して来た『沖野ナミ』
彼女を待ち受けていたのは
巨大な生わかめと
隠岐の洗礼(おすそ分け)だった…。

お米・肉・山菜に魚介類…
隠岐の様々な食材に触れ、料理し、
みんなでごはんを食べながら、
島の暮らしを堪能していく。